

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 3 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービス という

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|---|---|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | 学習室と指導訓練室を区分して運営している。法令に遵守している。 | 感染症予防対策の為、机上にパーテーションを設置している。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | 正規職員の確保とパート職員の確保を常に考えて対応している。 | 常時規定定数の配置をしている。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | 日本家屋の借家の為、玄関の段差が大きいが、その対応をしてある為、使用に問題はない。 | 個々の状態に合わせた可視化を図り事故防止に努めていく。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | 定期的または必要に応じ、研修実施。正職員は全員参加している。 | 事例検討・ヒヤリハット、マニュアル等を活用している。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | 年 1 回の自己評価の活用や必要に応じて保護者アンケート調査を実施、または個別対応によって保護者の意向を把握している。 | 保護者会に向けたアンケートも併用している保護者の意向を把握し、改善に取り組んでいる。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか | ○ | | 保護者や職員全員が評価を実施するようにしている。 | 自己評価の結果は、年 1 回必ずホームページにおいて公表している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | 第三者委員に各種委員会メンバーとして評価をしてもらっている。 | 良い関係性を保っていききたい。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | 毎月、又は週 1 回といった研修を開催。外部研修にも積極的に参加を後押ししている。 | 定期的、計画的に実施していく。 |

| | | | | | | |
|----------|---|---|---|--|---|--|
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | 半年毎のモニタリング時に再アセスメントを行い、保護者（児童）のニーズに合わせて計画をしている。 | 現状に合わせて見直しをし、保護者や利用者のニーズに応じていきたい。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | 標準化されたアセスメントツールを使用している。保護者から任意提出された情報や医療機関での発達検査も参考にしている。 | 年一回必ず実施するようにしている。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | 現場の指導員の発案を元に職員総意の上決定している。 | 指導員を中心に検討し、総意により決定をしている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | 毎月新しい活動を取り入れ、バランスよく計画をしている。 | 日々の現れを見落とさないように観察と記録を大切にしている。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | 利用時間の長短を考え、計画をしている。 | 今後も支援内容を話し合い、整合性のある支援をしていく。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | 支援目標を忘れず個別集団活動を計画している。療育活動を重視している。 | できる限り個人の意思決定を尊重していく。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | 朝礼時、夕礼時の打ち合わせにより綿密に行っている。 | 教材研究に力を入れ、個別支援や集団支援に役立てていく。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | 夕礼時（振り返り）各自反省を述べ、情報の共有をしている。申し送りノートの活用もしている。 | 気づき等は個別記録や業務日誌、職員連絡帳に記載し、全職員が見られるようにもれなく記入することを継続する。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | 記録の書き方指導を必要に応じて行い、個別日誌の重要性を理解させ記録させている。 | 職員間の報告・連絡・相談を重視していく。 |
| ⑱ | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | 6ヶ月毎のモニタリングを確実に実施し、必要に応じて6ヶ月以内でも行っている。 | 記録の徹底はもとより、申し送りも大切にしている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|--|--|--------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑱ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ○ | | 支援目標の中にも複数の基本的活動を組み入れている。 | 組み合わせの工夫をしていく。 |
| | ⑲ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | 保護者、相談員、児発管、チームリーダーが参画している。 | 連携を密に図っていく。 |
| | ⑳ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | 通学校の校長、教頭、担任、担当SSWとも情報共有している。 | 今後も学校や保護者との連携を図っていく。 |
| | ㉑ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | 該当なし | |
| | ㉒ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | 相互にコロナによる感染リスクを考え、なかなか話し合う機会がもてない。 | できる限り情報を共有していきたい。 |
| | ㉓ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | 卒業後の支援について、学校や相談支援センターが中心になっている為、積極的に関わってはいないが、必要に応じ支援内容等情報提供している。 | 支援内容等の提供は利用者にとって大切なことであるから提供をしていきたい。 |
| | ㉔ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | オンラインでの研修に参加しているが、直接の助言は受けていない。積極的に関わっていく。 | 専門機関とは引き続き連携をし、助言や研修を受けていく。 |
| | ㉕ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | ○ | | 感染症対策により、なるべく他集団への参加をしないようにしていたが、今後は緩和していきたい。 | 意図的、意識的に関りをもつようにしていく。 |
| | ㉖ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | なかなか参加に至らないが、機会があれば参加していく。 | 協議会の情報を得る努力をする。 |
| | ㉗ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | 連絡帳、電話、口頭（送迎時）面談を通して行っている。 | 今後もきめ細やかな提供を心がけていく。 |

| | | | | | | |
|------------|---|---|---|--|--|---|
| 保護者への説明責任等 | ⑲ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | 相談支援事業所とも協力し、保護者に積極的に実施に向けた取り組みを働きかけている | 研修等の情報を伝え研修参加の機会を提供していく。 |
| | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 面談時書面において説明を行い、変更になった場面も伝える。 | 保護者のニーズに合わせて、その都度対応していく。 |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | 随時相談に応じ、助言や支援を行っている。 | 保護者の訴えを真摯に受け止め、誠意を持って対応をしていく。 |
| | ㉒ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | 保護者の仕事の都合や感染症を懸念して、対面ではなかなか実行するに至らない。アンケート形式をとり必要事項がある場合、文書にて知らせている、保護者同士なるべく話す機会を取り入れて個別対応を図るようにしている。 | 全員参加を目標に保護者の意向を伺いながら今後も保護者同士の連携を図っていきたい。保護者会が開催できるように工夫をしていく。 |
| | ㉓ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 苦情は今までなく、相談として申し出がある。何事も即対応をするようにしている。 | 苦情の際には迅速かつ適切に対応していく。 |
| | ㉔ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 定期的とは言えないが、活動の様子を各自に配布している。月行事は当然お知らせをしている。 | ホームページで行事の様子を発信している。 |
| | ㉕ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | 職員にも守秘義務について研修を行い、注意している。 | 職員教育を継続的に行っていく。 |
| | ㉖ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | 児童への関り方の研修をし、保護者の声を聞きもらさないよう注意している。連絡ノートも活用。 | 障害の状態に合わせた配慮を心がける。 |
| | ㉗ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | 地域に開かれた事業所を目指し運営してきたが感染症対策で現在は実施していない。地域の文化展への参加をし、多少の交流はある。 | 近隣住民の理解が得られるように積極的に関わっていく。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|---|---|
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | 保護者には、マニュアルや注意事項を書面で配布し、職員にはマニュアルを中心とした研修を実施。 | 必要に応じて見直しをしていく。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 防火、洪水、防災といった訓練を毎月定期的に行っている。 | 訓練を実施し、突発的な場面でも冷静に対応できるようにしていく。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 新規職員採用時と毎年1回は必ず研修を実施している。 | マニュアルを定期的に見直し、職員研修を継続的に実施していく。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | 口頭では説明しているが、文書記載がない為、記入していくように改善したい。 | 研修等を通して意識統一を図り、支援に活かしていく。対象者には支援計画に記載し、保護者の同意を得ていく。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | アセスメントにおいて、アレルギーの有無内容について保護者からの申し出のみ。 | 今後も面談時に情報を得ていく。保護者にはアレルギー表で説明していく。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | ヒヤリハットの作成は積極的に行うようにして、提出されたらなるべく早く検討会を開催し改善策を練っている。 | 検証の実施を継続していく。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5 年 3 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービス という

保護者等数 12（児童数 12）

回収数 10 割合 83 %

| | | チェック項目 | ご意見 | | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|--|-----|-----|--|
| | | | はい | いいえ | |
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 10 | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 10 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 9 | 1 | 玄関まではスロープがあるが、屋内には特に見当たらない。 日本家屋であることと借家であることもあり、改造・改築は不可能ですが、できる限りの安全に配慮しています。 |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 10 | | |
| | ⑤ | 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか | 10 | | 1ヶ月ごとに活動スケジュールが決められ、プリントをもらっている。 |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | 4 | 4 |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 10 | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 10 | | 送迎時などに気になる点があれば伝えてもらっている。連絡帳も活用されている。 |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 10 | | |

| | | | | | | | |
|---------|---|--|----|---|---|--------------------------------|---|
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 2 | 5 | 3 | コロナの影響もあり、集合することは難しいと思う。 | 昨年度同様コロナ感染予防の為、止む無く今年度もアンケート形式で実施し、ご意見や検討課題などについて記入していただきました。保護者間相互の親睦を深めるためにも来年度に向けて保護者会開催に向けて検討していきたいと考えています。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | 2 | | 特に苦情はありませんが、あってもきっと聞いてもらえると思う。 | 苦情の申し立てがあれば即対応をします。悩みや相談事も気軽にしていただけるように配慮します。 |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか | 10 | | | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 8 | 2 | | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 10 | | | | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。 | 9 | 1 | | 利用開始時にマニュアルの説明があった。 | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 9 | 1 | | 定期的に行われていて安心です。 | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 9 | 1 | | 低年齢の利用者との交流も楽しそうである。 | 学習及び集団活動は無理強いしません。しかし、療育的な活動(訓練)は支援計画に基づいて提供しますので無理のない範囲で提供します。自己決定を大切にしていきます。 |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 10 | | | いつもありがとうございます。 | 不満足な点や要望、希望などを伺い、保護者様の声を真摯に受け止め、満足していただける支援を目指します。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。